

とびしま海道

TOBISHIMAKAIDO

仁方駅からとびしま海道へのルート

仁方駅 → 仁方第二トンネル → 仁方駅 → 倉橋サイクリング → 仁方駅 → 安芸灘大橋 → 下蒲刈島 → 上蒲刈島 → 豊島 → 大崎下島 → 大崎上島

安芸灘大橋
橋長1175mで、県道に架かる吊り橋としては日本で最長。

下蒲刈島
標高275mの大平山まで平均傾度5.8%の2.7kmの道のり。道幅も広く比較的整備されて登りやすい。

上蒲刈島
交通量が少なく平坦で自転車向きの道。防波堤がなく海を近く感じることができる。

豊島
豊島大橋 2008年開通。橋長903mの吊り橋で、とびしま海道では最後に完成した橋。

大崎下島
大崎下島トンネル 大崎下島を南北に貫くトンネル。長さ465mあり、ここに来るには高低差100mを上昇する必要がある。

大崎上島
平羅橋 とびしま海道では唯一の斜張橋で長さは最短の98m。

中の瀬戸大橋
橋長が251mのアーチ橋。大崎上島までの定期船が橋の下を降り抜ける。

岡村大橋
広島県と愛媛県の県境にかかる橋で、橋長が228mのアーチ橋。

初級コース

7つの島を爽快に

サイクリング推奨ルート(ブルーライン)を通る定番のルート。道路幅も広く、高低差も少なく初めてとびしま海道を走るにも安心な約40kmの最短ルート。

Approx. 40km

中級コース

感じる瀬戸の波音

波打ち際に手をつけられる場所から、瀬戸の波音を感じられる高台まで、島の風景と人々の息吹を感じる、少し高低差を感じる約60kmのルート。

Approx. 60km

高級コース

絶景とびしまスカイライン

高台や稜線から眺める立体的な島風景と、柑橘栽培や漁など人々の暮らしを感じてもらい、約200mの峠を2回越える約73kmのルート。

Approx. 73km

ブルーライン The Blue Line

初めて利用する人も迷わないように、車道の左端に幅20cmの青い線を引き、目的地までの距離を示した「ブルーライン」を設置している。とびしま海道では下蒲刈島から岡村島まで設置しており、車の運転手に自転車への注意を促す目的もある。

地蔵峠トンネル

長さ125m、大地蔵地区に抜ける隧道。狭くて暗く薄気味悪いのが特徴。

三之瀬地区

江戸時代、朝鮮王朝からの使節団「朝鮮通信使」が立ち寄った港町。現在も石畳や長雁木などその面影を残す。美術館や博物館などが建ち並び、「白雪楼」ではお抹茶体験ができる。松濤園の資料は2017年にユネスコ記憶遺産「朝鮮通信使」に関する記憶」認定され注目を集めている。

御手洗町並み保存地区

江戸時代、風待ち、潮待ちの港町として栄えた御手洗は、国の重要伝統的建造物群保存地区。土地が狭いため数度にわたって埋め立てられた御手洗は、大小の商家、茶屋、船宿、住宅、神社、寺院などが混在し、路地等が網の目のように巡っています。現在は飲食店、カフェ、お土産屋さんなどが建ち並び人気観光スポットです。

豊島大橋

2008年開通。橋長903mの吊り橋で、とびしま海道では最後に完成した橋。

豊島大橋

豊島ループ橋

豊浜大橋

大崎下島トンネル

大崎下島を南北に貫くトンネル。長さ465mあり、ここに来るには高低差100mを上昇する必要がある。

大崎下島

大崎下島を南北に貫くトンネル。長さ465mあり、ここに来るには高低差100mを上昇する必要がある。

大崎下島トンネル

大崎下島を南北に貫くトンネル。長さ465mあり、ここに来るには高低差100mを上昇する必要がある。

大崎上島

平羅橋 とびしま海道では唯一の斜張橋で長さは最短の98m。

中の瀬戸大橋 橋長が251mのアーチ橋。大崎上島までの定期船が橋の下を降り抜ける。

岡村大橋 広島県と愛媛県の県境にかかる橋で、橋長が228mのアーチ橋。

豊島大橋 2008年開通。橋長903mの吊り橋で、とびしま海道では最後に完成した橋。

豊島ループ橋

豊浜大橋

大崎下島トンネル

大崎下島を南北に貫くトンネル。長さ465mあり、ここに来るには高低差100mを上昇する必要がある。

凡例

- お食事/カフェ/軽食
- 温泉
- 洋式トイレ
- 絶景&珍景色
- 宿泊施設
- 和式トイレ
- 買い物
- 港
- ビーチ

C-14